

「忘れない」、「守りたい」災害パネル展

3/14 SAT - 18 WED

10:00 - 20:00 ※18日は17:00終了予定

会場：仙台市情報・産業プラザ 5F 展示スペース

住所：〒980-6105 宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1

TEL：022-724-1200

主催：国土交通省

入場
無料

Free of charge

こんにちは、世界のみなさん。

みなさん、ご存じですか？

国土交通省では、災害の被害を最小限に食い止めるために様々な活動を行っていることを。

東日本大震災では、

- 津波到達前に仙台空港からいち早く国土交通省のヘリが飛び立ち被害状況調査
- 警察・消防・自衛隊が救助に向かうための道路のガレキ除去
- 災害対応の専門家として最前線で奮闘する市町村長の補佐など、全国から専門家を集結して、国土交通省の総力を挙げて対応しました。

災害への対応は発生時の対応だけでなく事前の備えが重要です。このため、東日本大震災を始め過去の災害の教訓も活かし、命を守り、被害が最小限となるようハード・ソフトの両面から様々な対策を進めています。

いざというときに災害から身を守るためには、みなさん自身が的確な行動をとっていただくことが必要です。レーダー雨量計による雨量情報やハザードマップなどをぜひ参考にさせていただきたいと思います。

災害から学んだ我が国の知恵や技術を、各国にも提供することは、数多くの災害に見舞われ、それを乗り越えてきた我が国だからこそできる貢献です。

今回、「国連防災世界会議」の一環として「使命=Mission:防災・減災」をテーマに国土交通省の取り組みをご紹介します。

みなさんと一緒に、災害に立ち向かっていきたいと思っています。

ACCESS アクセス

仙台市情報・産業プラザ 5F

〒980-6105 宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1



バス

- 仙台市営バス／宮城交通
仙台駅前下車 ⇒ 徒歩3分

電車

- 仙台市営地下鉄南北線
仙台駅下車 ⇒ あおば通駅・JR線方面北8番出口 ⇒ 徒歩4分
- JR在来線
仙台駅下車 ⇒ 中央改札から名掛丁方面8番出口 ⇒ 徒歩2分
- JR東北新幹線
仙台駅下車 ⇒ 仙台駅西口出口 ⇒ 徒歩2分

車

- 高速道路
仙台宮城ICから広瀬通を東へ10分

シンポジウム

2015. **3.15**
16:30 - 18:30

場所：東北大学 萩ホール（定員1,200名）

「激甚化する巨大災害にどう立ち向かうか」
～命を守り、社会経済の壊滅的被害を回避するために～

MISSION

「忘れない」、「守りたい」災害パネル展

— いのちを守り、暮らしを支える —



— Disaster Management Exhibition by Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



国土交通省は第3回国連防災世界会議を支援しています。

東日本大震災 での活動

記憶

2011年3月11日。

この日に発生した我が国の災害史に残る大災害、東日本大震災に対して、総力を挙げて取り組んだ国土交通省。

海上保安庁による救助活動を始め、人命救助に大きな役割を果たす道路啓開や排水活動、物資輸送を支える航路啓開、倒壊した施設の復旧・復興など、これらはすべて国土交通省が行った活動である。

これらの活動が今に続く被災地の復興への第一歩であり、その活動の記憶を刻む。



巨大地震 への備え

覚悟

記憶に新しい東日本大震災を始め、地震大国である我が国は古えより巨大地震を数多く経験し、その被害を軽減するため、様々な工夫をして国づくりを進めてきた。

現在でも、首都直下地震や南海トラフ巨大地震など巨大地震への備えは、東日本大震災から得られた教訓を基に、様々な対策を進めている。

国土交通省は、地震への備えを着実に進める決意である。



多様な自然災害 への備え

信念

自然豊かな我が国は、美しく急峻な地形と色鮮やかな四季が、様々な表情を見せてくれる。反面、それは地震や火山噴火を始め、季節の変化による雪害や風水害、土砂災害など様々な災害をもたらしている。先人は、これら度重なる災害から被害を軽減するため、自然と折り合い、自然との共生を考えながら様々な知恵や技術を獲得し、対策を進めてきた。先人の知恵や過去から得られた技術等を活かし、災害からの被害を減らす、これが国土交通省の信念である。



国土交通省の 使命

災害大国。

これは我が国を指す形容詞のひとつである。また、「津波」や「砂防」といった言葉が世界共通語となるほど、我が国にとって災害は身近なものである。こうした身近な災害に対し、最前線で活動するのが国土交通省である。

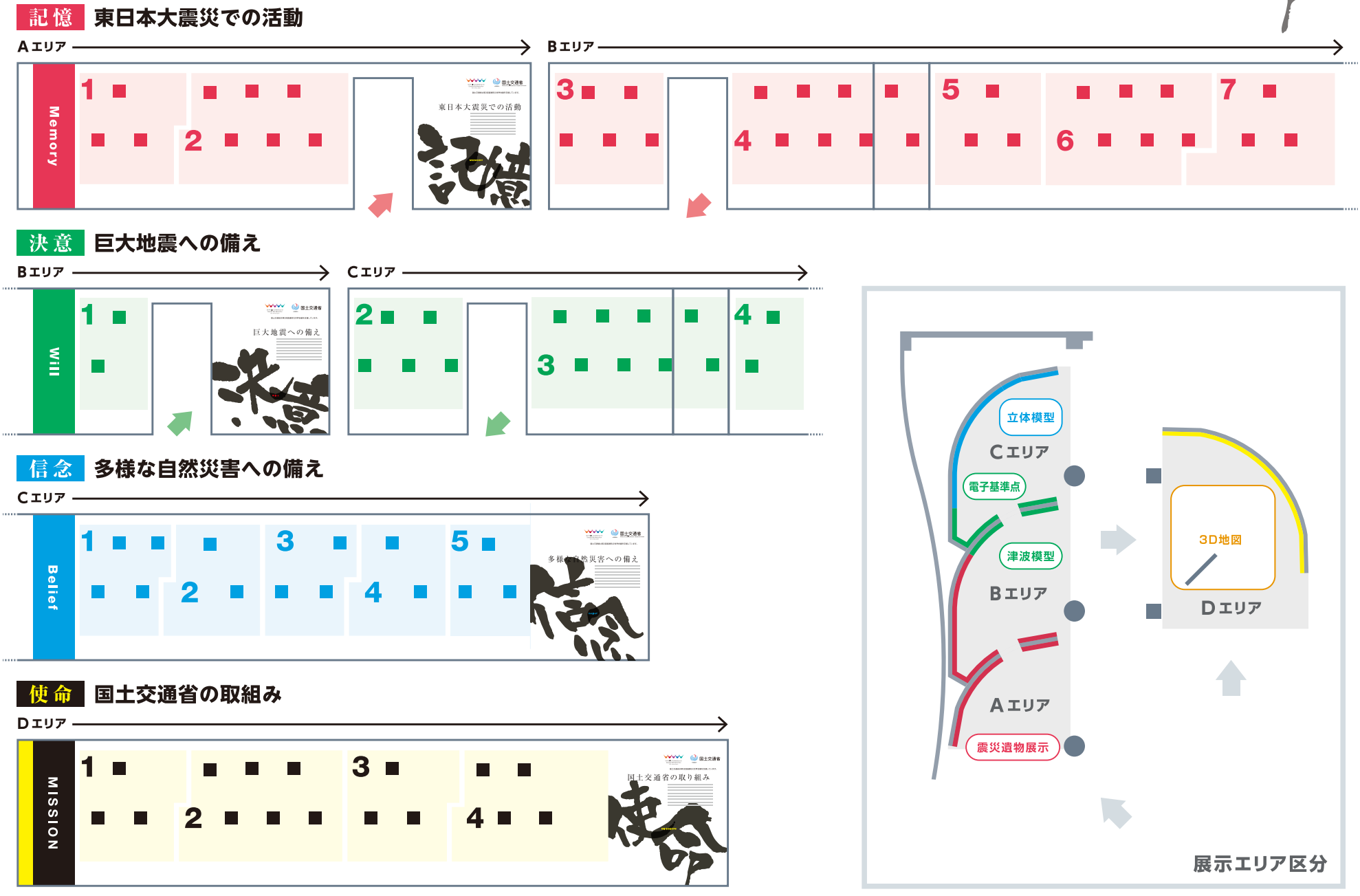
海上保安庁による救助・救命活動、気象庁による観測、緊急災害対策派遣隊による応急活動を始め、大規模地震や台風など様々な災害への備えなど。これら国土交通省が行う災害への対応は最も重要な使命である。



展示パネル
★展示パネルにおける情報の配置図

MISSION 使命

「忘れない」、「守りたい」災害パネル展
—いのちを守り、くらしを支える—



展示内容

東日本大震災での活動

Memory

- 被害の概要**
- 津波の襲来
 - 橋桁流出 道路崩壊
 - 港湾機能停止 etc.
- 初動**
- 職員、幹部が災害対策室へ集結
 - 37分後、防災ヘリ緊急発進
 - 出動、TEC-FORCE etc.

- 緊急対応**
- 陸上での安全確保
 - 「くしの歯作戦」決行
 - ポンプ車投入、排水量630万㎡
 - 3月23日(水)までに主要 10港、接岸可能 etc.
 - 海上での安全確保
 - 航行安全の確保
 - 航路標識の復旧
 - 航行警報等の発出 etc.

- 救助・救援**
- 捜索救助 ～孤立車の救助/潜水捜索～
 - 急患搬送
 - コンビナート火災の消火 etc.
- 支援**
- 困難な作業。使命感に支えられ
 - 啓開された「道」。救援部隊続々と etc.
- 震災遺物展示

- 役割**
- 「命の道」として機能
 - 高速道路が防波堤
 - 住民を守り、支えた堤防 etc.
- 復旧**
- 落下した橋、仮橋により通行可能
 - 河川1,195カ所、四ヶ月で緊急復旧
 - 応急復旧により海上物流回復 etc.
- ★「ガイド東北」～東北滞在中者必携です!～
★経験を伝承、そして備えへ

巨大地震への備え

Will

- 大規模地震への備え**
我が国における震災対策
- 応急対策**
- 日本の住宅・建築物の災害対策
 - ウェブ地図による情報発信 etc.
- 啓開・輸送**
- 港湾における防災・減災対策
 - 南海トラフ巨大地震の被害の想定
 - 道路における震災対策 etc.

- 事前対策**
- SARによる地殻変動・地盤沈下等広域監視の高度化
 - 防災に役立つ地理空間情報の整備と提供
 - 中部地震津波対策技術センターの取り組み etc.
- 防災・耐震**
- 日本の住宅・建築物の災害対策
 - 都市における防災対策
 - 道路における震災対策 etc.

- 研究開発**
- 巨大地震に対し事前に備える
 - 津波に対し事前に備える etc.
- 津波模型
- 電子基準点
- ★電子基準点の海外展開

多様な自然災害への備え

Belief

- 水害対策**
- 災害常襲国ニッポン
 - 激甚化する水害に対する治水対策(河川・ダム)
 - 道路法面の防災対策 etc.
- 土砂災害対策**
- 大規模な天然ダムの形成と対応 etc.

- 火山対策**
- 近年の大規模災害とその対応 etc.
- 雪害対策**
- 雪道の管理
 - 雪国 日本
 - 道路の雪害対策(近年の降雪の特徴) etc.
- 立体模型

- 国際貢献**
- 国際緊急援助隊の活動 etc.
- 特別警報等**
- 特別警報 etc.
- 3D地図

国土交通省の取組み

MISSION

- 陸海空**
- 国土交通省の災害対策
 - 気象庁の災害対策
 - 海上保安庁の災害対策 etc.
- TEC*FORCEの活動**
- 活動!TEC-FORCE!!

- 災害対策車両の紹介**
- 災害の現場で働くクルマ!
- 身を守る為に**
- 洪水ハザードマップ
 - レーダー雨量観測と一般配信 etc.

- 国際緊急援助隊の活動 etc.
- 特別警報 etc.
- 3D地図

